

# 全国中小企業動向調査結果

(2024年7-9月期実績、10-12月期以降見通し)

## 小企業の景況

(原則従業員20人未満)

### 小企業の景況は、持ち直しの動きに足踏みがみられる

(前回)持ち直しの動きに足踏みがみられる

- 業況判断DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲23.8となった。  
来期はマイナス幅が縮小する見通し。 ← 5ページ
- 売上DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲9.1となった。  
来期はマイナス幅が縮小する見通し。 ← 10ページ
- 採算DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲17.0となった。  
来期はマイナス幅が縮小する見通し。 ← 11ページ

#### ■ 主要DI(カッコ内は前回調査からの変動幅)

業況判断DI	売上DI	採算DI	資金繰りDI	借入DI
▲23.8 (-2.8)	▲9.1 (-2.2)	▲17.0 (-2.5)	▲22.9 (-4.0)	▲15.3 (+0.1)

## 中小企業の景況

(原則従業員20人以上)

### 中小企業の景況は、持ち直しの動きがみられる

(前回)持ち直しの動きに足踏みがみられる

- 業況判断DIは、前期から上昇し、5.0となった。  
来期以降も上昇する見通し。 ← 17ページ
- 売上DIは、前期から上昇し、10.8となった。  
来期以降も上昇する見通し。 ← 20ページ
- 純益率DIは、前期からマイナス幅が縮小し、▲3.0となった。  
来期以降も上昇する見通し。 ← 21ページ

業況判断DI	売上DI	純益率DI	資金繰りDI	長期借入難易DI
5.0 (+6.3)	10.8 (+3.9)	▲3.0 (+3.9)	2.8 (+3.4)	3.7 (-0.4)

#### <お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第二グループ Tel:03-3270-1691(担当:青野、葛貫)  
中小企業研究第一グループ Tel:03-3270-1703(担当:白石、立澤)  
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

## 目次

調査結果の概要	1
---------	---

### 【小企業編】

概況	3
調査の実施要領	4
業況判断	5
売上	10
採算	11
資金繰り、借入	12
経営上の問題点	13
設備投資、価格動向	14

### 【中小企業編】

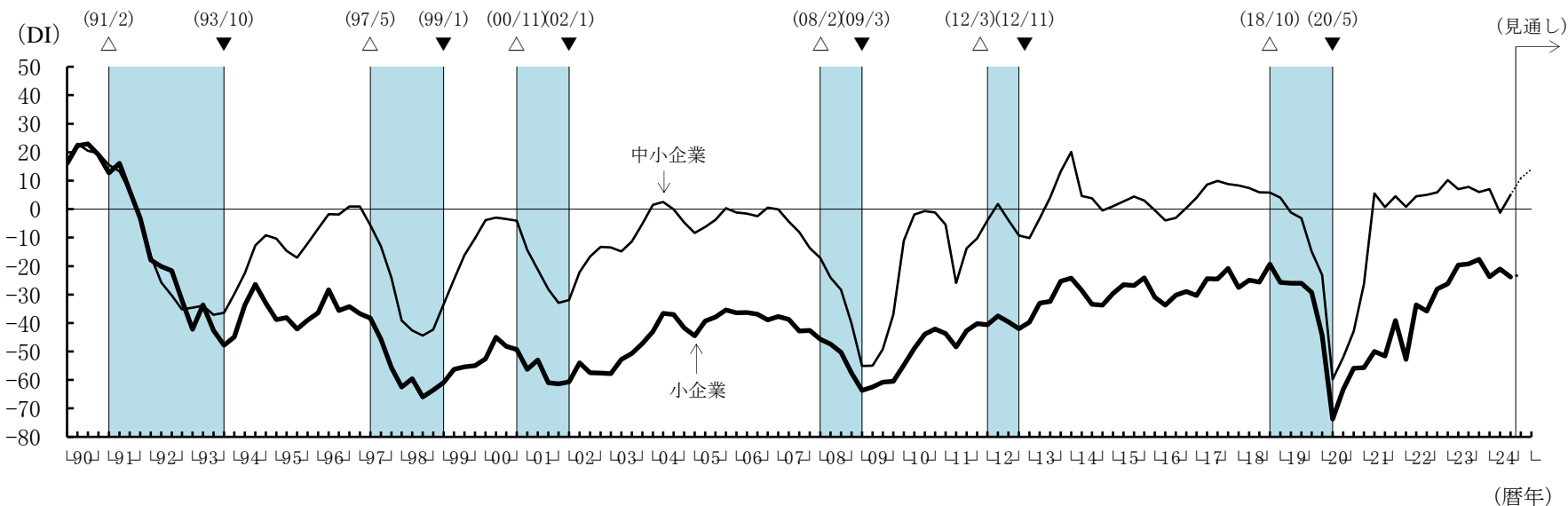
概況	15
調査の実施要領	16
業況判断	17
売上	20
利益	21
価格、金融関連	22
雇用、設備	23
経営上の問題点	24

# 調査結果の概要

## 1 業況判断DIの推移

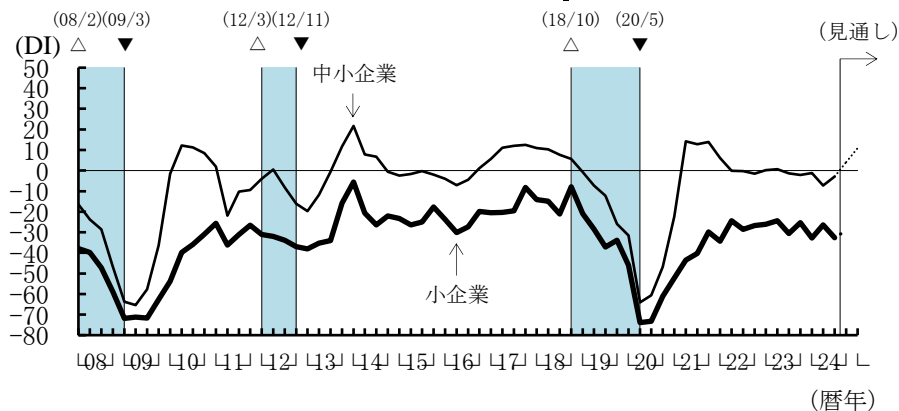
### ①全業種計

	22.7-9	22.10-12	23.1-3	23.4-6	23.7-9	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3
中小企業	5.1	5.9	10.2	7.0	7.8	6.0	7.0	▲1.3	5.0	見通し	見通し
小企業	▲35.8	▲28.0	▲26.3	▲19.7	▲19.2	▲17.6	▲23.8	▲21.0	▲23.8	▲23.0	-



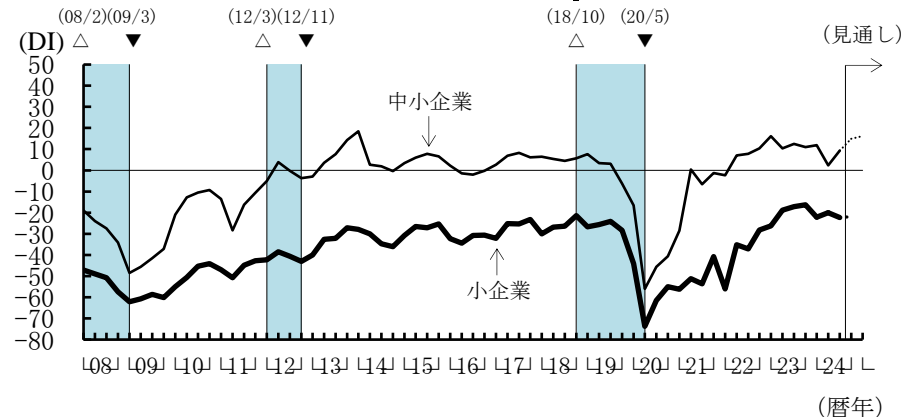
### ②製造業

	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3
中小企業	▲1.2	▲7.3	▲2.9	見通し	見通し
小企業	▲32.8	▲26.5	▲32.6	▲29.1	-



### ③非製造業

	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3
中小企業	11.9	2.3	9.3	見通し	見通し
小企業	▲22.1	▲20.0	▲22.2	▲21.9	-

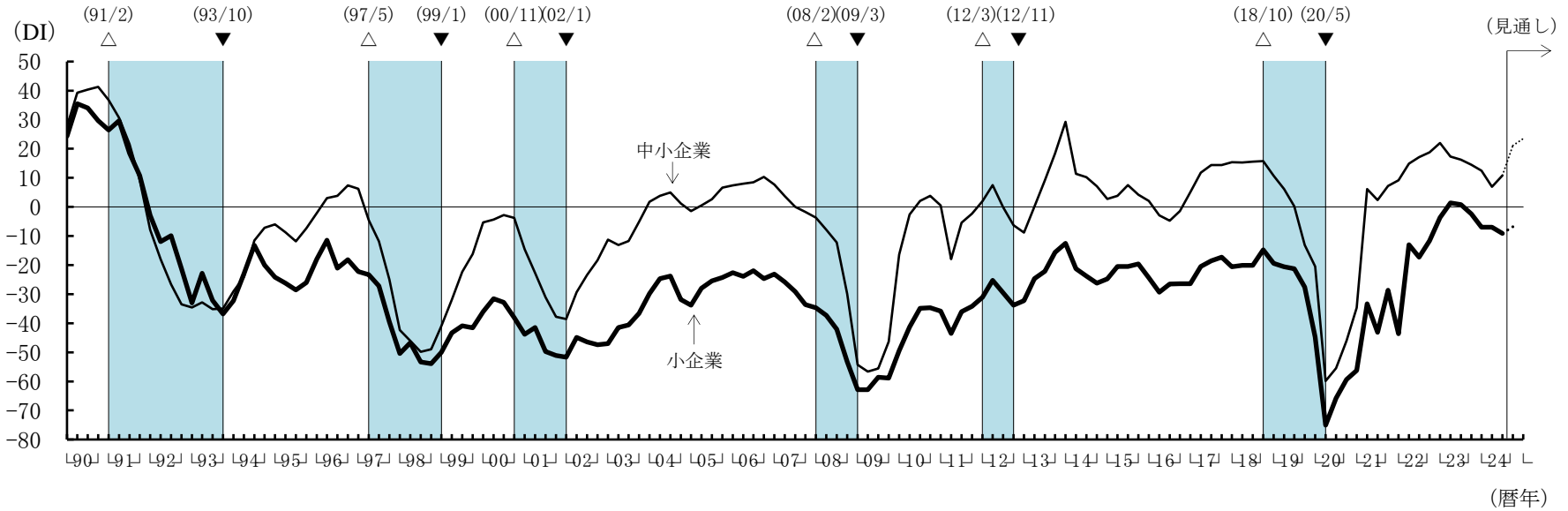


- (注) 1 小企業のDIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 中小企業のDIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値(季節調整済)。  
 3 △は景気の山、▼は景気の谷、シャドー部分は景気後退期を示す(以下同じ)。

## 2 売上DIの推移

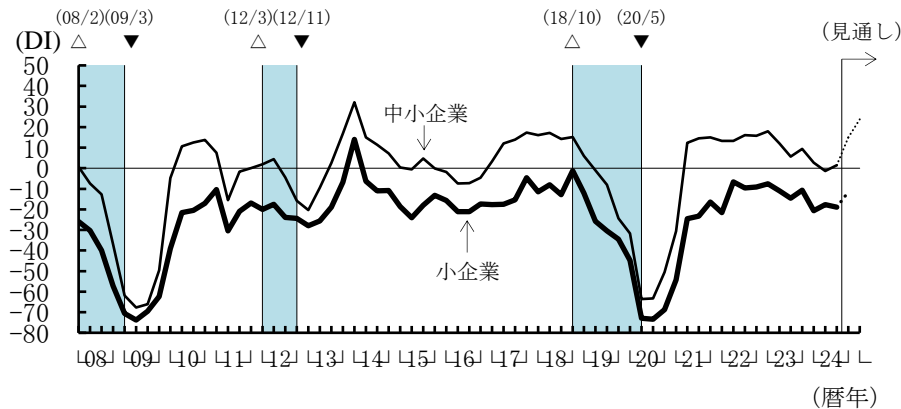
### ①全業種計

	22.7-9	22.10-12	23.1-3	23.4-6	23.7-9	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3
中小企業	17.2	18.8	22.0	17.3	16.3	14.5	12.5	6.9	10.8	見通し	見通し
小企業	▲17.3	▲11.6	▲3.6	1.4	0.8	▲2.4	▲7.0	▲6.9	▲9.1	▲6.8	-



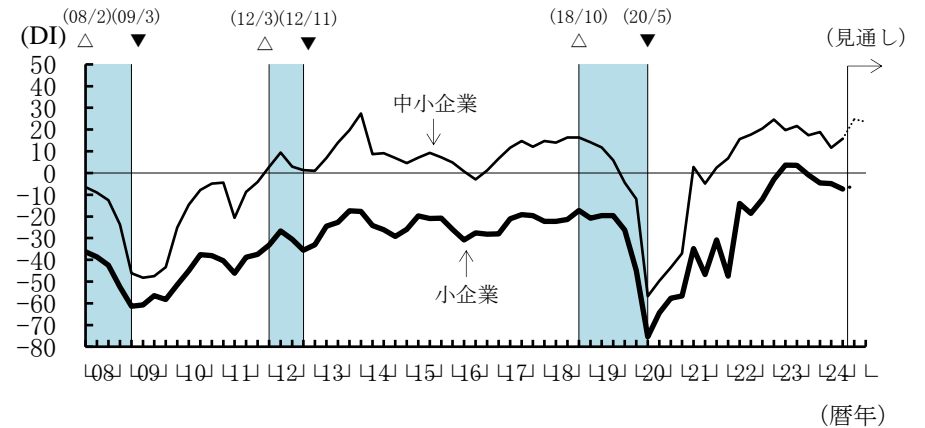
### ②製造業

	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3
中小企業	2.6	▲1.3	1.4	見通し	見通し
小企業	▲20.7	▲17.7	▲18.9	▲11.5	-



### ③非製造業

	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3
中小企業	18.8	11.7	15.7	見通し	見通し
小企業	▲4.6	▲4.9	▲7.3	▲6.0	-



- (注) 1 小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 中小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値 (季節調整済)。

## 小企業編

(2024年7－9月期実績、10－12月期見通し)

小企業の景況は、持ち直しの動きに足踏みがみられる

[調査の実施要領]

調査時点 2024年9月中旬  
 調査対象 当公庫取引先 10,000 企業  
 有効回答数 5,965 企業 [回答率 59.7 %]

<業種構成>

		調査対象	有効回答数	
製造業	(従業者20人未満)	1,500 企業	906 企業	(構成比 15.2 %)
卸売業	(同 10人未満)	800 企業	621 企業	(同 10.4 %)
小売業	(同 10人未満)	2,450 企業	1,380 企業	(同 23.1 %)
飲食店・宿泊業	(同 10人未満)	1,800 企業	875 企業	(同 14.7 %)
サービス業	(同 20人未満)	2,000 企業	1,254 企業	(同 21.0 %)
情報通信業	(同 20人未満)	160 企業	64 企業	(同 1.1 %)
建設業	(同 20人未満)	1,100 企業	733 企業	(同 12.3 %)
運輸業	(同 20人未満)	190 企業	132 企業	(同 2.2 %)

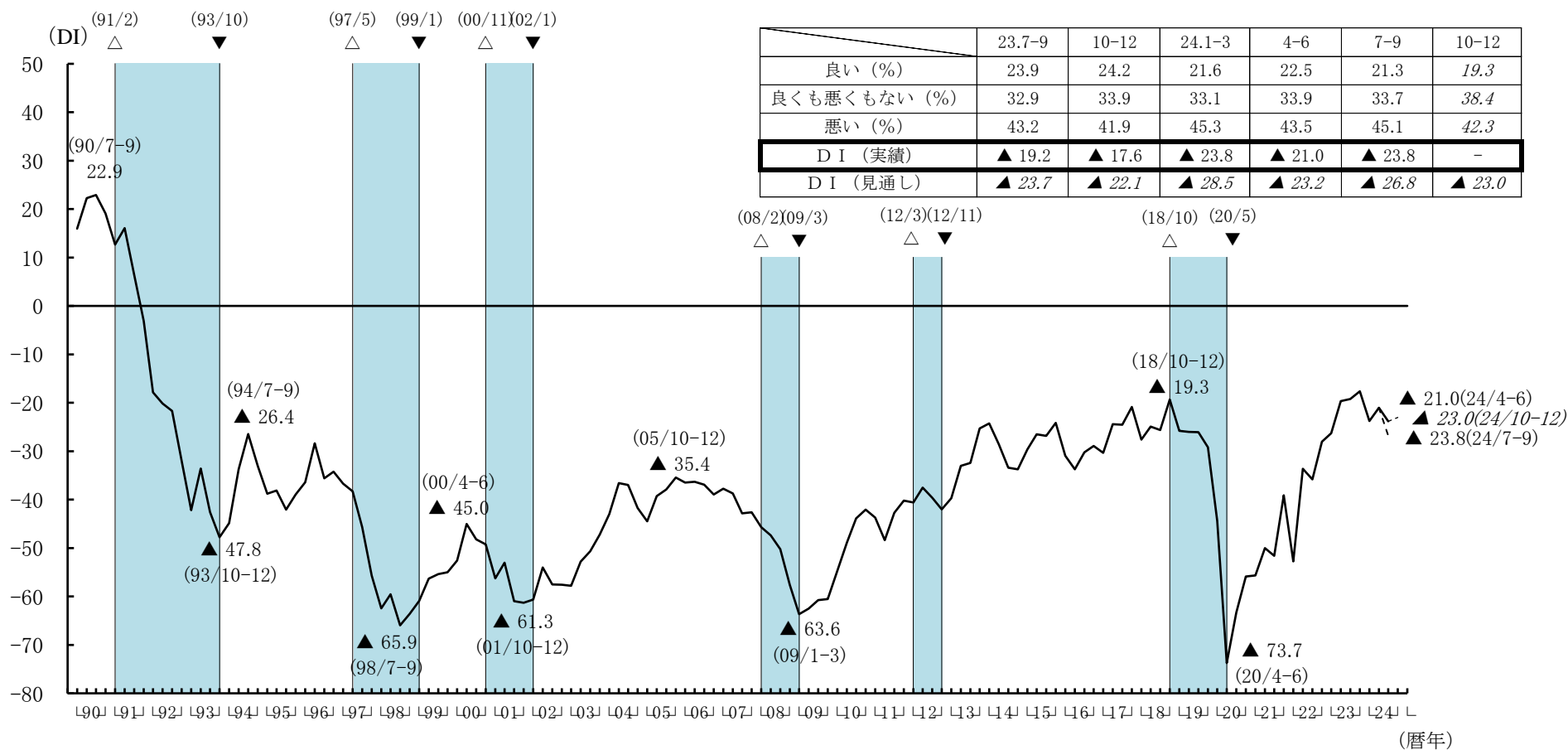
(参考)

法人	4,079 企業	(構成比 68.4 %)
個人	1,886 企業	(同 31.6 %)

# 1 業況判断

- 今期の業況判断DI（全業種計）は、前期（2024年4-6月期）からマイナス幅が2.8ポイント拡大し、▲23.8となった。
- 来期は、マイナス幅が縮小し、▲23.0となる見通しである。

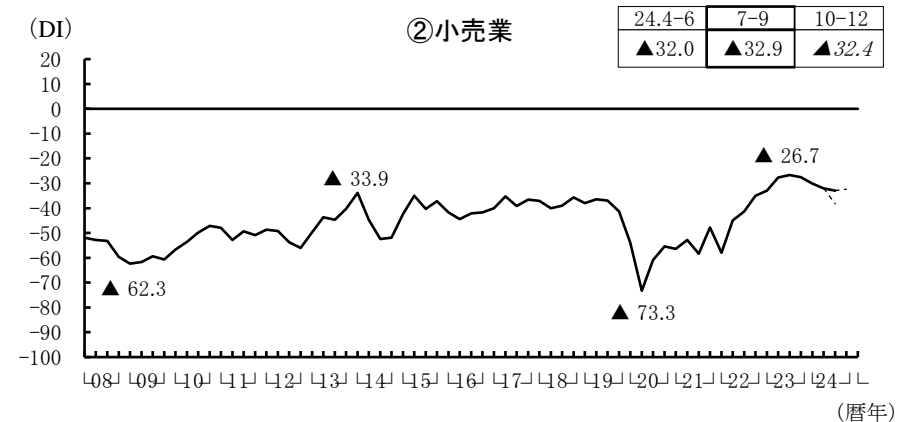
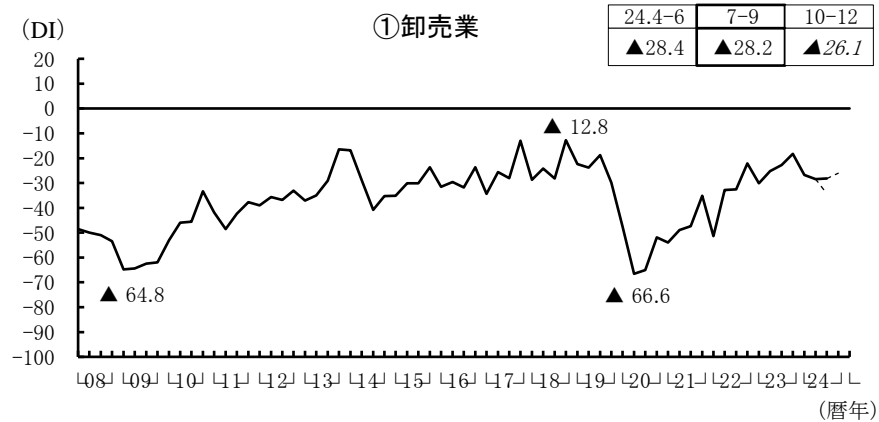
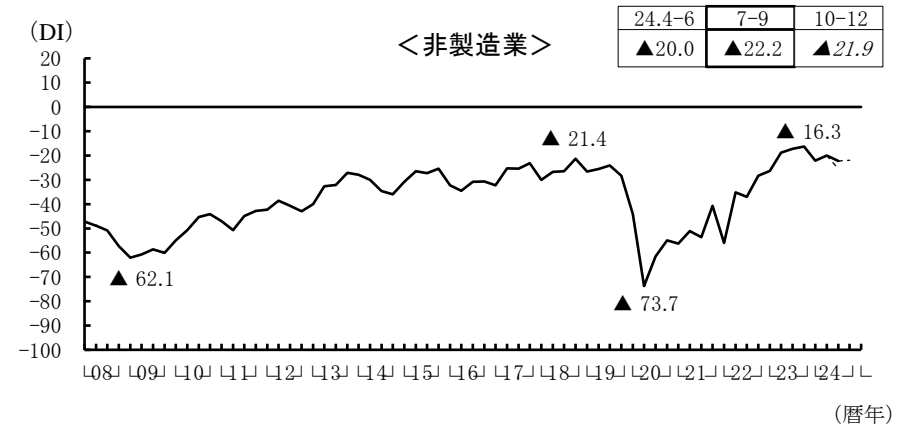
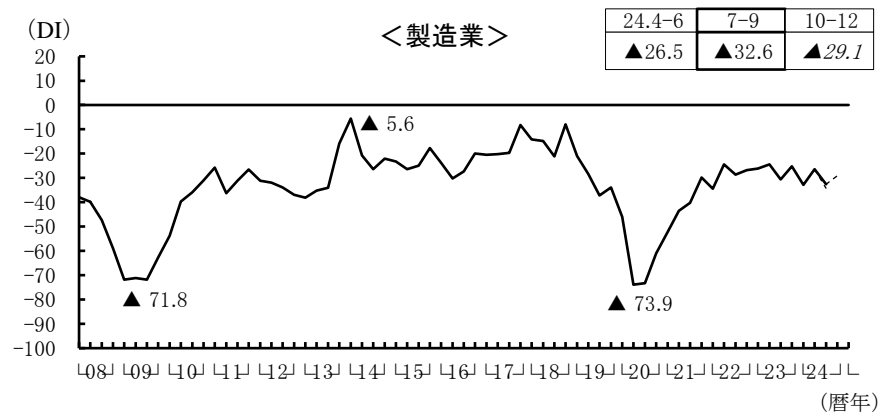
図－1 業況判断DIの推移（全業種計）



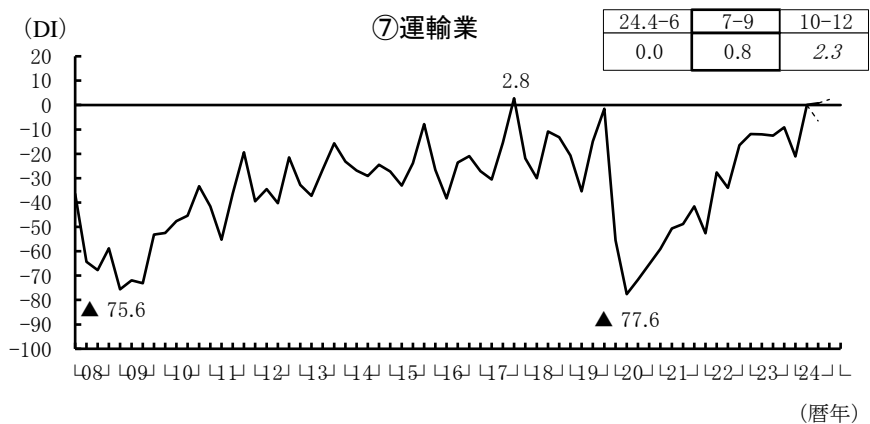
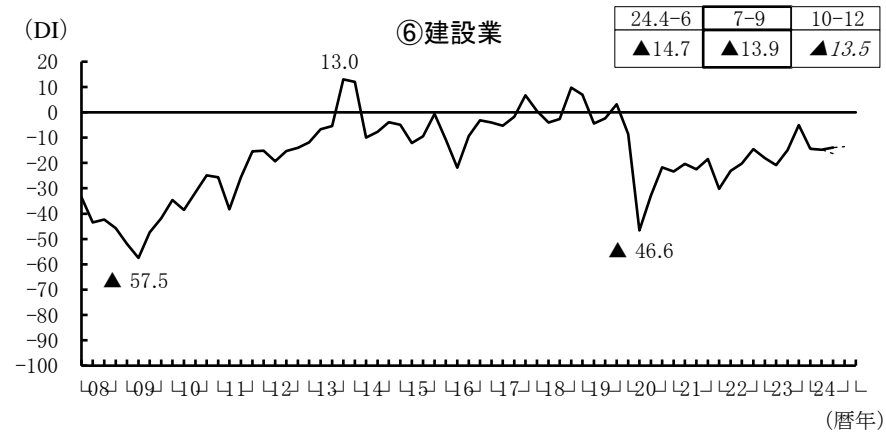
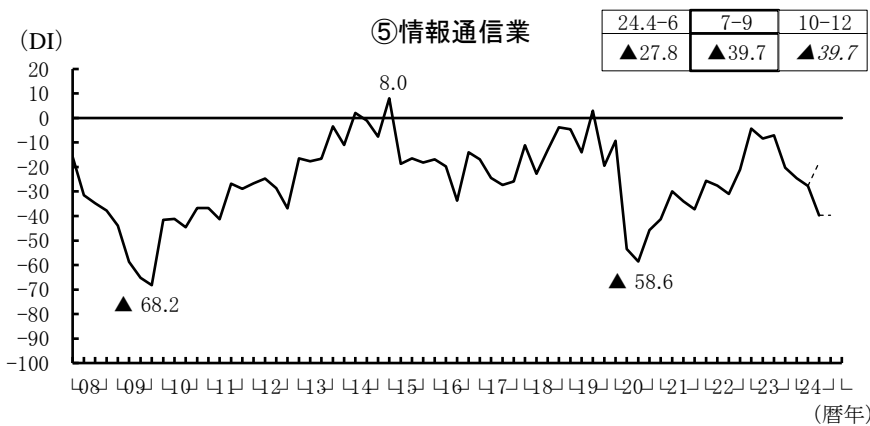
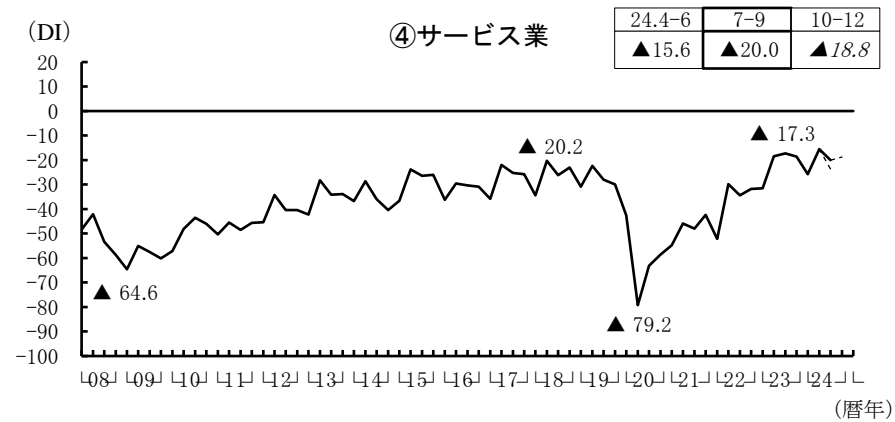
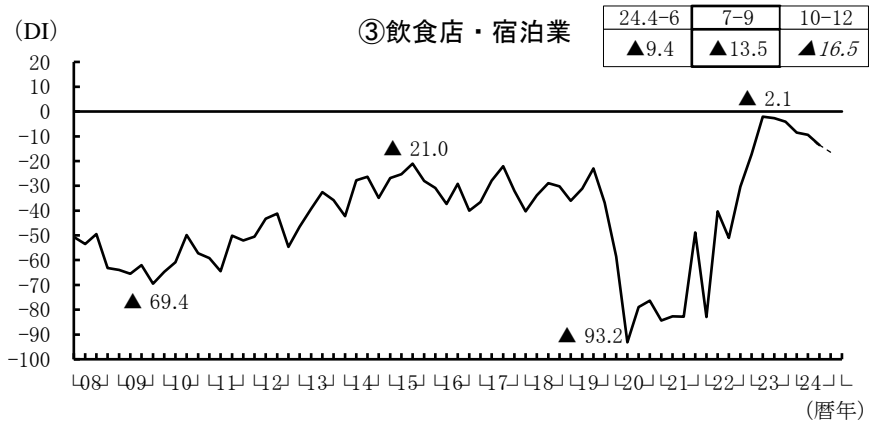
(注) 1 DIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

- 業況判断DIを業種別にみると、製造業（▲32.6）、非製造業（▲22.2）ともにマイナス幅が拡大した。非製造業を構成する大分類業種のうち、卸売業と建設業、運輸業を除くすべての業種でマイナス幅が拡大した。
- 来期は、製造業、非製造業ともにマイナス幅が縮小する見通しである。

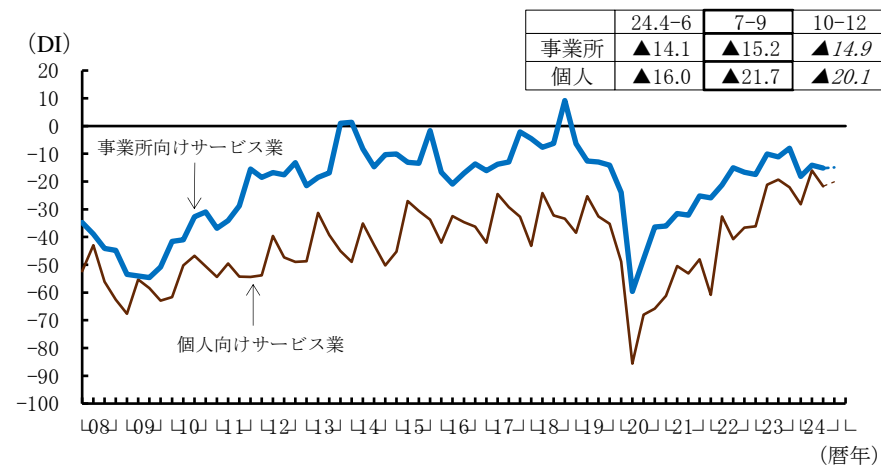
図－2 業種別業況判断DIの推移





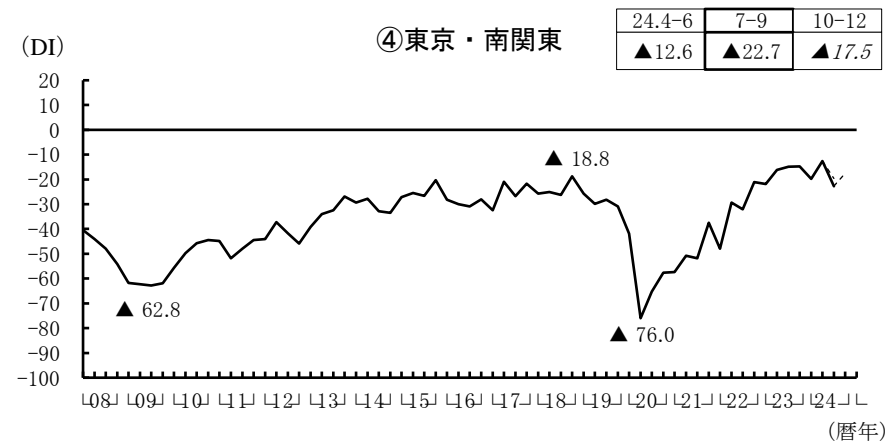
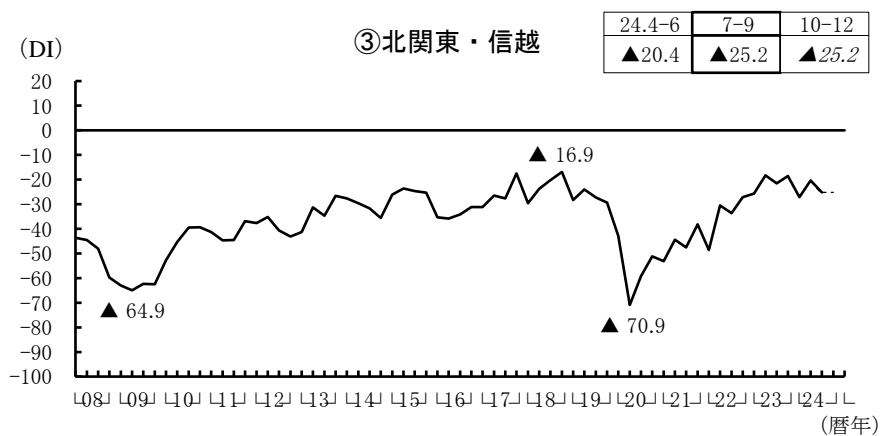
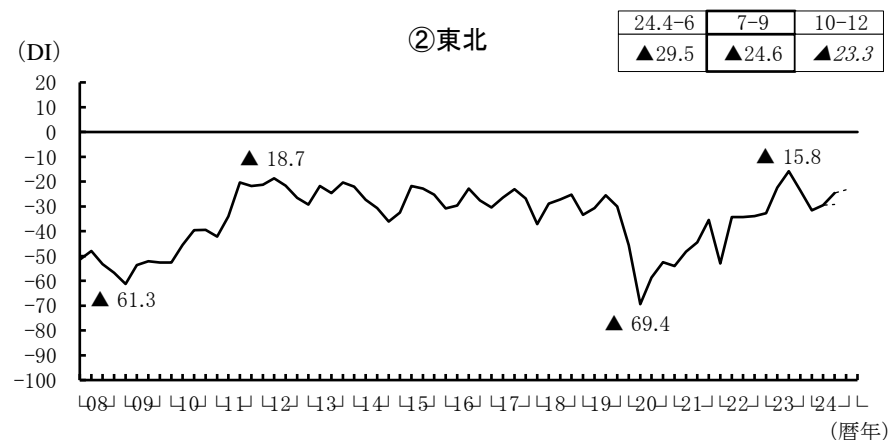
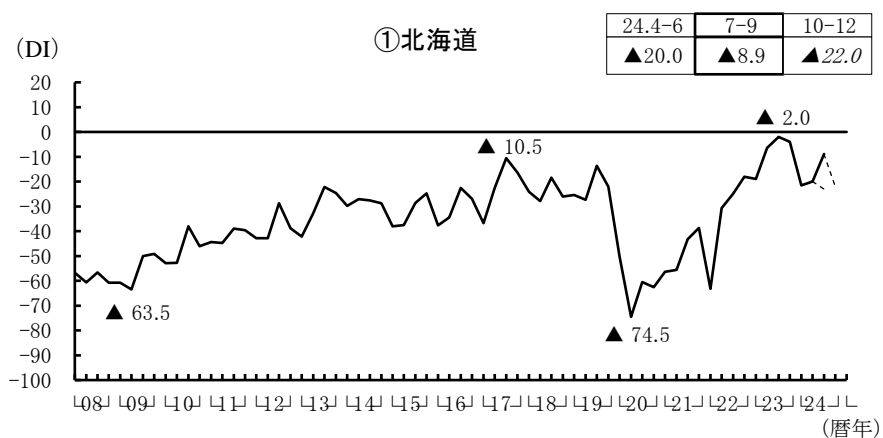


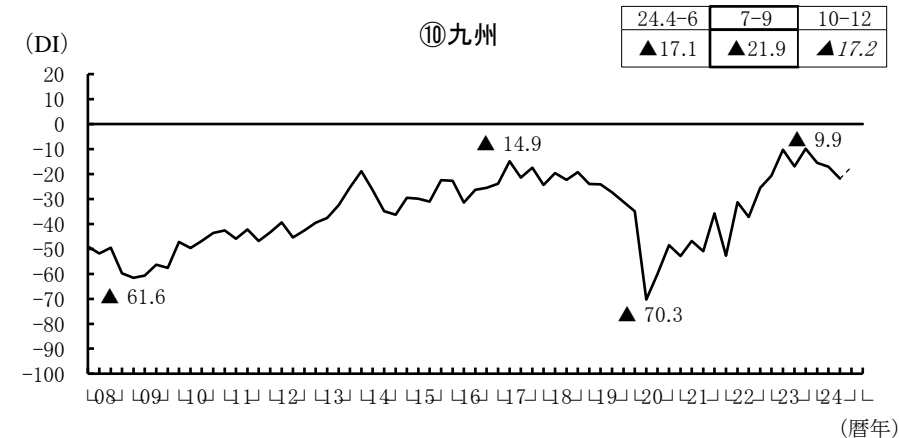
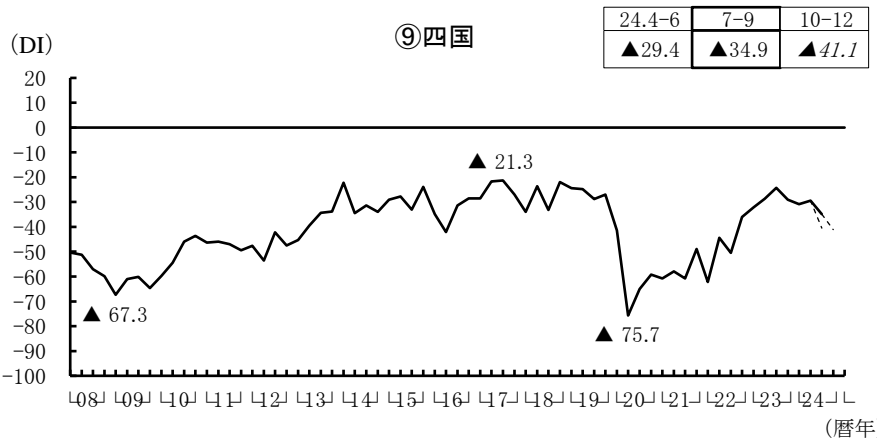
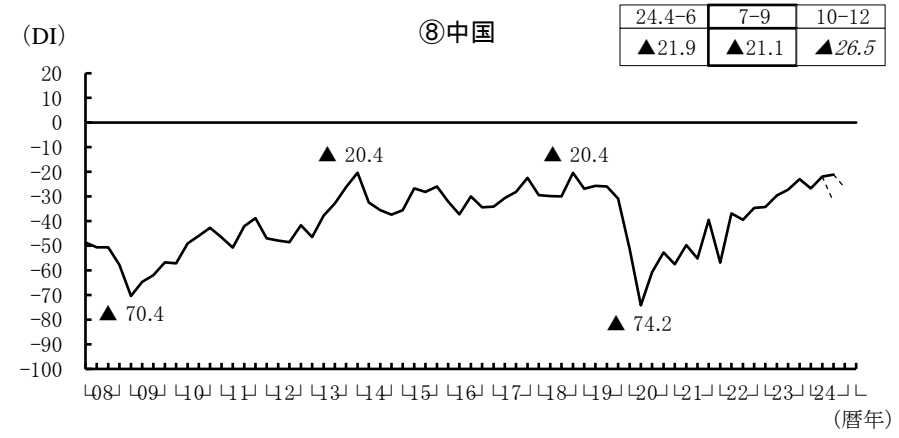
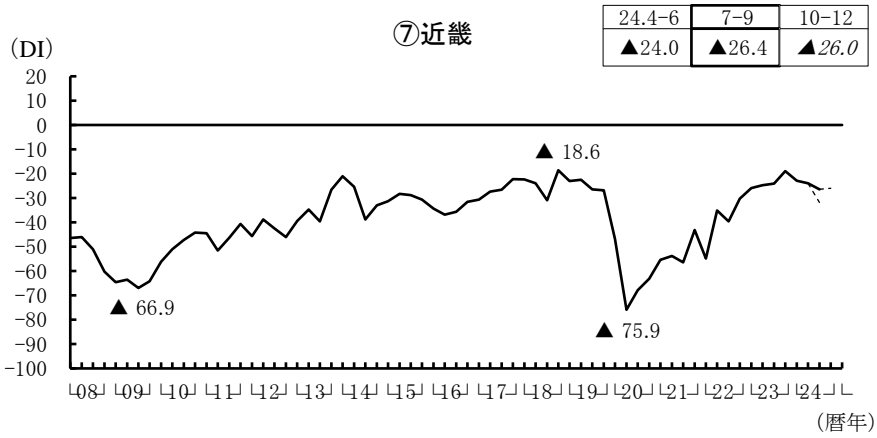
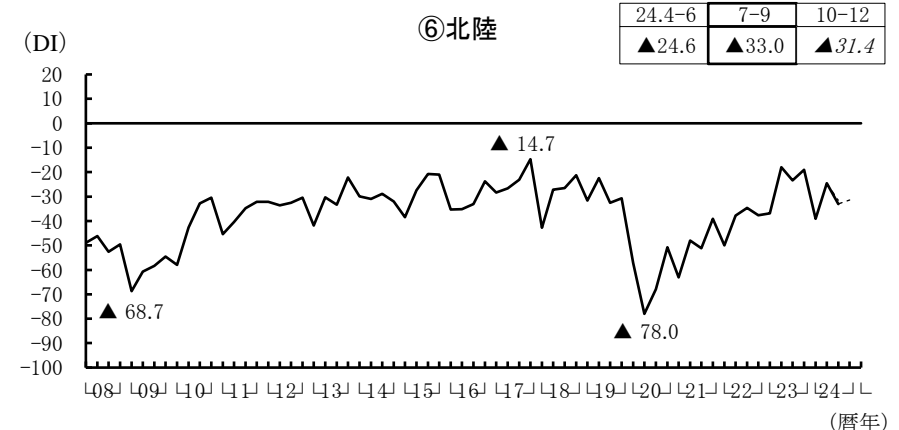
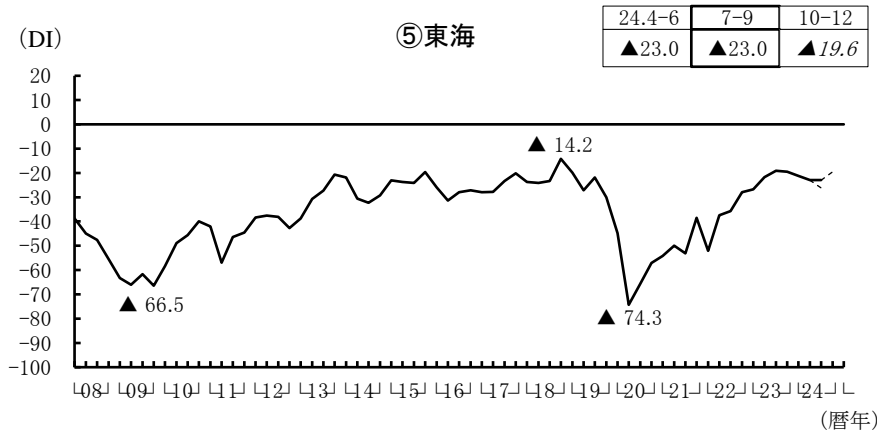
(参考) 個人向けサービス業と事業所向けサービス業の業況判断DIの推移



- 業況判断DIを地域別にみると、北海道と東北、東海、中国を除くすべての地域でマイナス幅が拡大した。
- 来期は、北海道と北関東・信越、中国、四国を除くすべての地域でマイナス幅が縮小する見通しである。

図－３ 地域別業況判断DIの推移

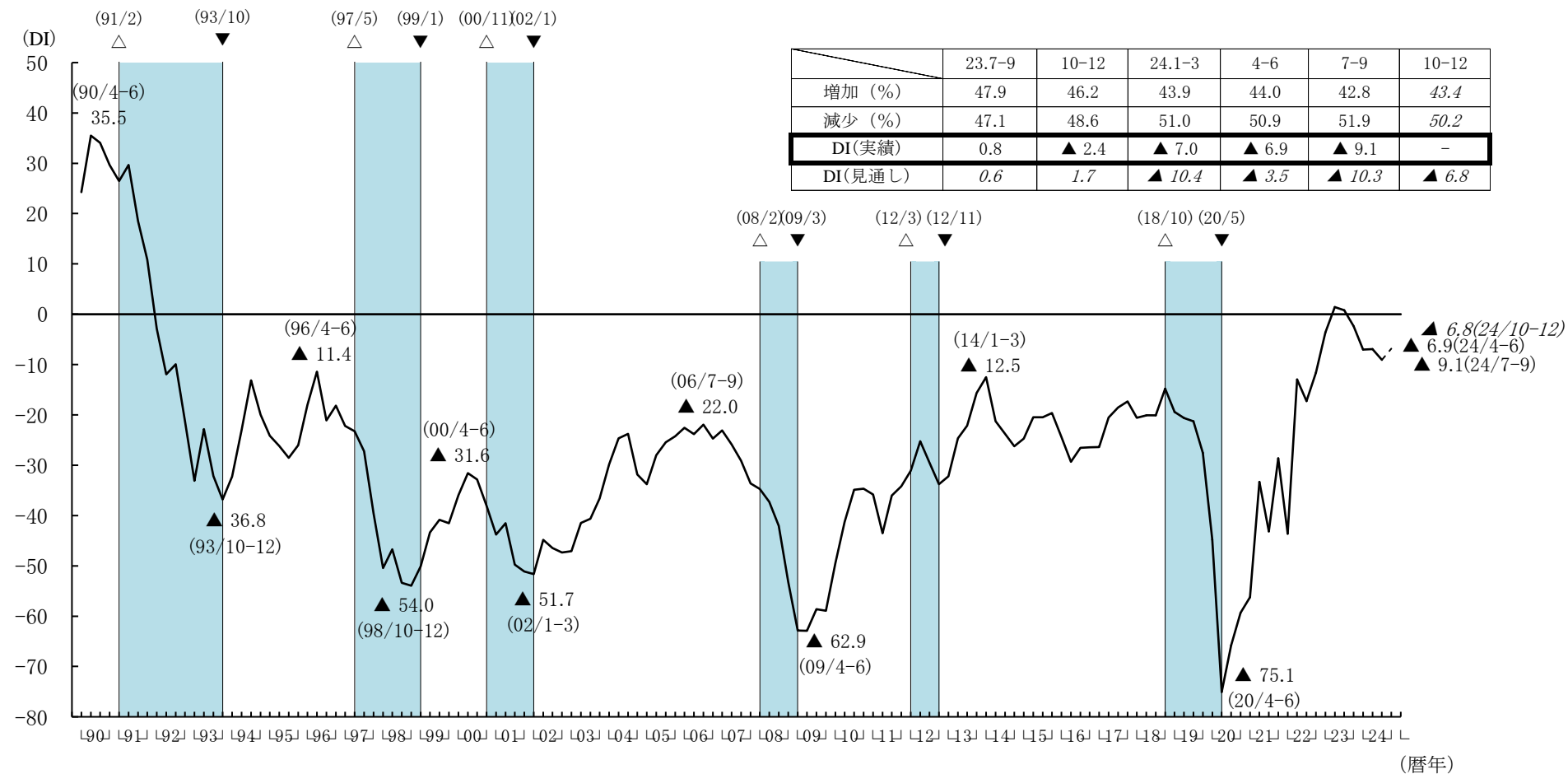




## 2 売上

- 今期の売上DI(全業種計)は、前期からマイナス幅が2.2ポイント拡大し、▲9.1となった。
- 来期は、マイナス幅が縮小する見通しである。

図－4 売上DIの推移（全業種計）



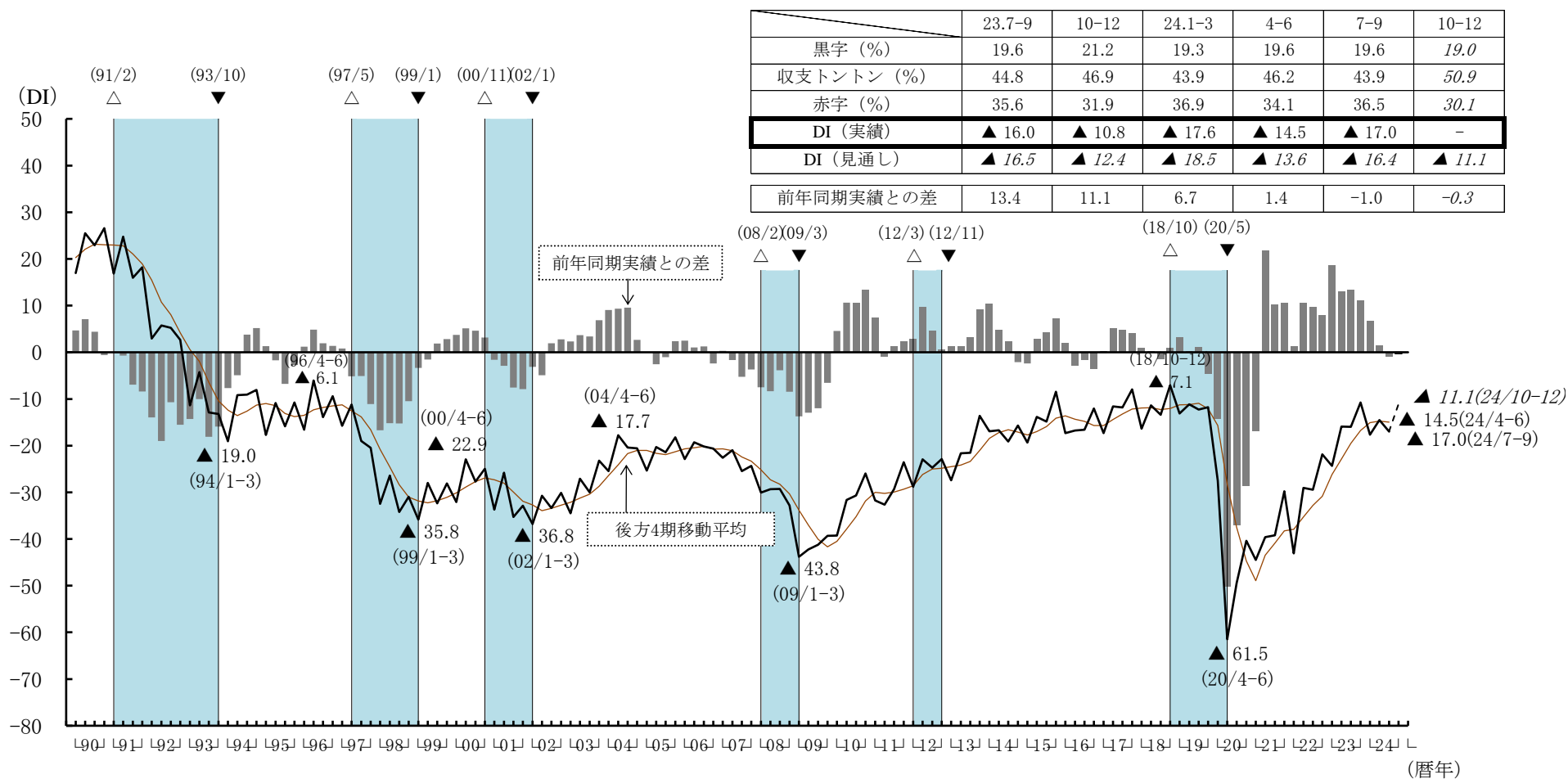
(注) 1 DIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値。

2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

### 3 採算

- 今期の採算DI(全業種計)は、前期からマイナス幅が2.5ポイント拡大し、▲17.0となった。
- 来期は、マイナス幅が縮小する見通しである。

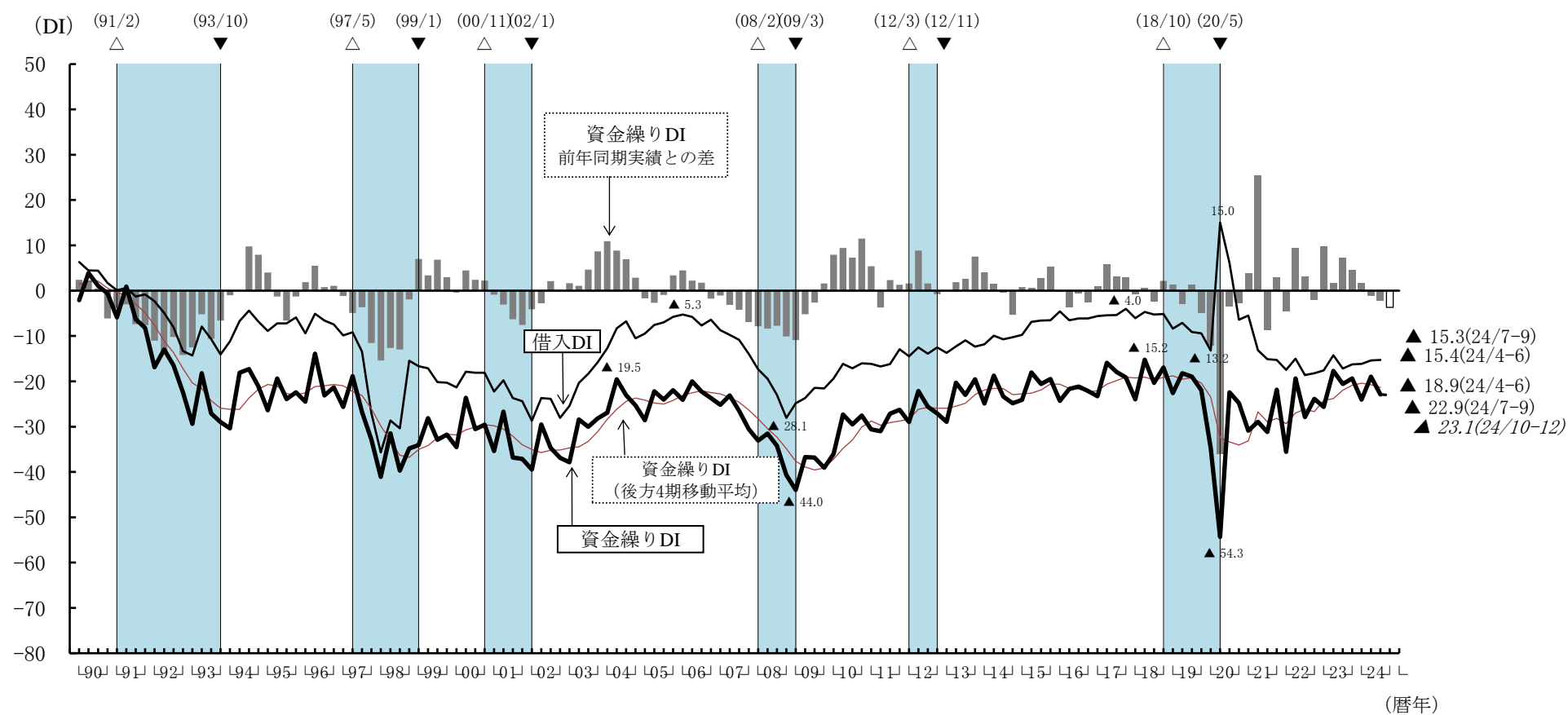
図－5 採算DIの推移（全業種計）



## 4 資金繰り、借入

- 今期の資金繰りDI（全業種計）は、前期からマイナス幅が4.0ポイント拡大し、▲22.9となった。来期も、マイナス幅が拡大する見通しである。
- 民間金融機関からの借入状況（全業種計）をみると、今期の借入DIは、前期からほぼ横ばいの▲15.3となった。

図－6 資金繰りDI、借入DIの推移（全業種計）



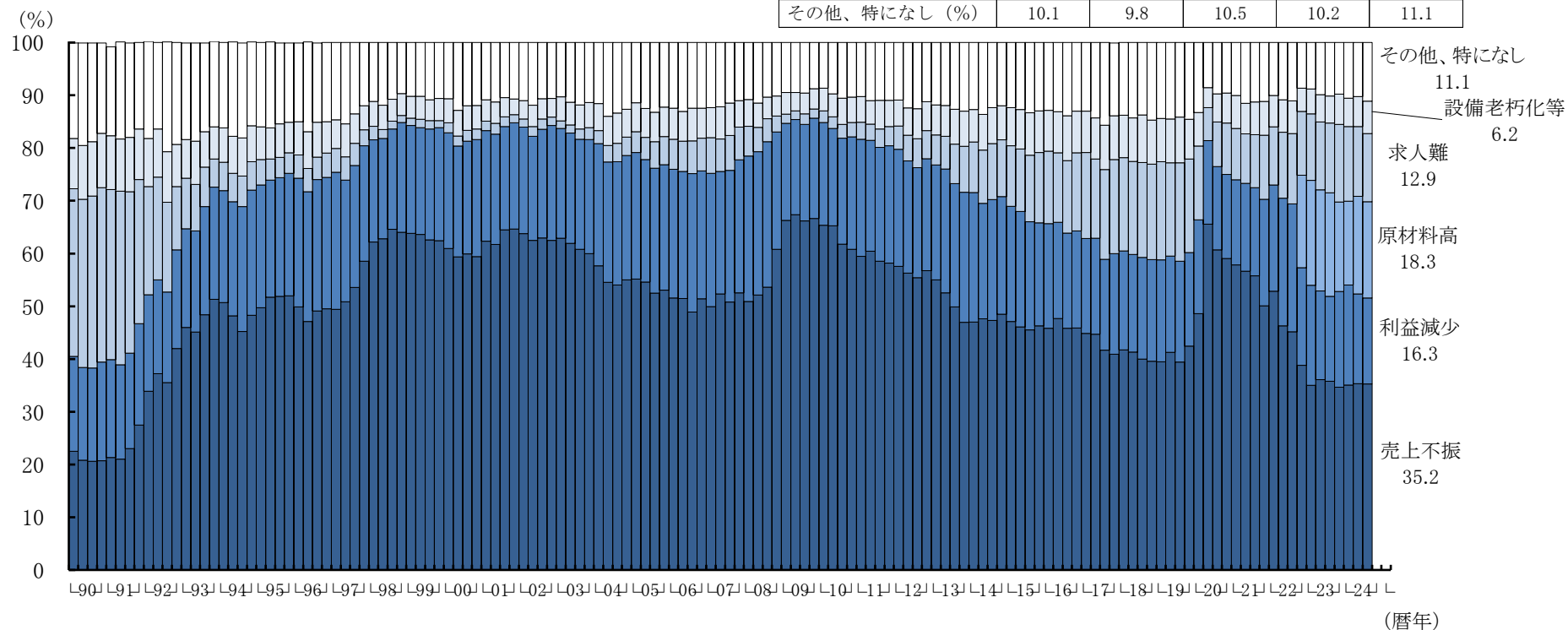
- (注) 1 資金繰りDIは、前期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 借入DIは、前期比で「容易になった」と回答した企業割合から「難しくなった」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 3 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。  
 4 白抜き部分は見通しと前年同期実績との差。

## 5 経営上の問題点

- 当面の経営上の問題点（全業種計）をみると、「売上不振」が35.2%と最も多く、次いで、「原材料高」（18.3%）、「利益減少」（16.3%）の順となっている。

図－7 経営上の問題点の推移（全業種計）

	23.7-9	10-12	24.1-3	4-6	7-9
売上不振（%）	35.8	34.7	35.1	35.3	35.2
利益減少（%）	16.1	18.1	19.0	17.0	16.3
原材料高（%）	19.6	17.0	15.9	18.5	18.3
求人難（%）	13.2	14.7	14.2	13.2	12.9
設備老朽化等（%）	5.1	5.8	5.4	5.7	6.2
その他、特になし（%）	10.1	9.8	10.5	10.2	11.1

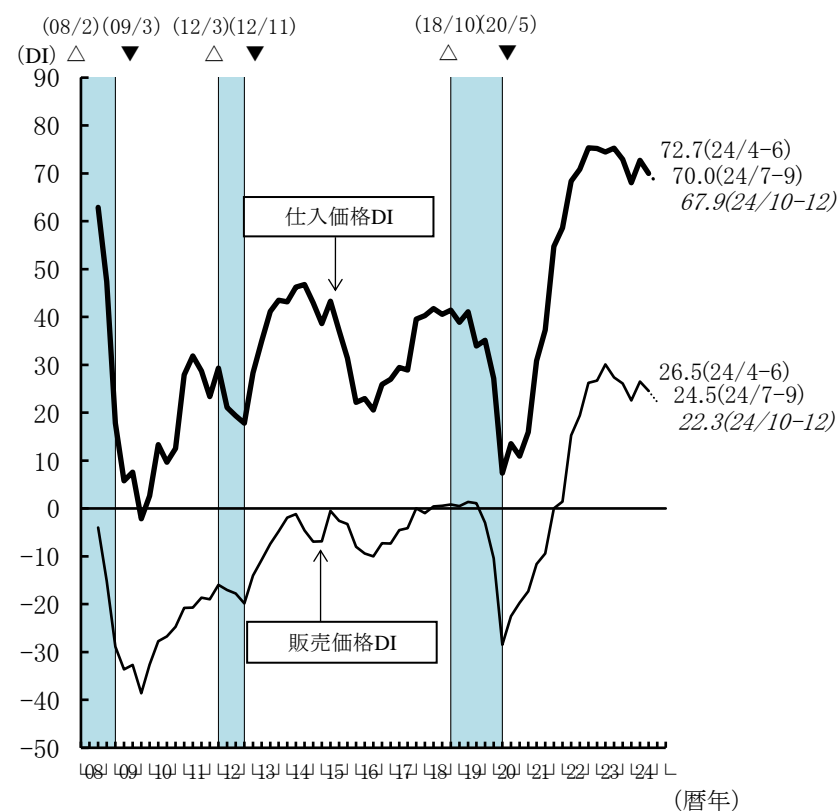
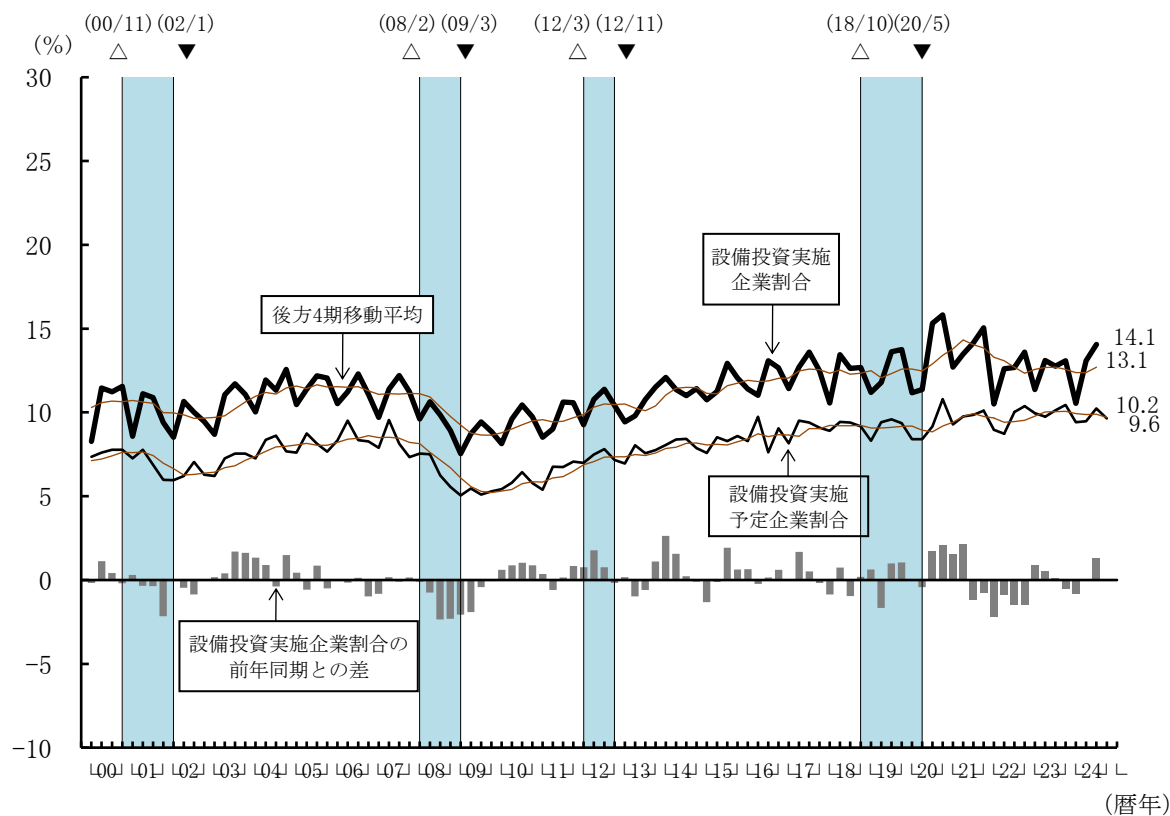


- (注) 1 2022年10-12月期に「原材料高」を追加した。  
 2 「その他、特になし」は、「代金回収条件の悪化」「代金支払条件の悪化」「借入難」「その他」「特に問題なし」を合計したものの。  
 3 小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

## 6 設備投資、価格動向

- 今期の設備投資実施企業割合（全業種計）は、前期から1.0ポイント上昇し、14.1%となった。
- 今期の販売価格DI（全業種計）は、2.0ポイント低下し、24.5となった。来期も低下する見通しである。
- 今期の仕入価格DI（全業種計）は、2.7ポイント低下し、70.0となった。来期も低下する見通しである。

図－8 設備投資実施企業、実施予定企業割合の推移（全業種計） 図－9 販売価格DI、仕入価格DIの推移（全業種計）



- (注) 1 DIは、前年同期比で「上昇」と回答した企業割合から「低下」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。  
 3 2008年7-9月期から調査を実施。



## 中小企業編

(2024年7－9月期実績、2024年10－12月期および2025年1－3月期見通し)

中小企業の景況は、持ち直しの動きがみられる

## [調査の実施要領]

調 査 時 点	2024年9月中旬
調 査 対 象	当公庫取引先（原則従業員20人以上）14,199社
有 効 回 答 数	6,023 社 [回答率 42.4 %]

### < 業 種 構 成 >

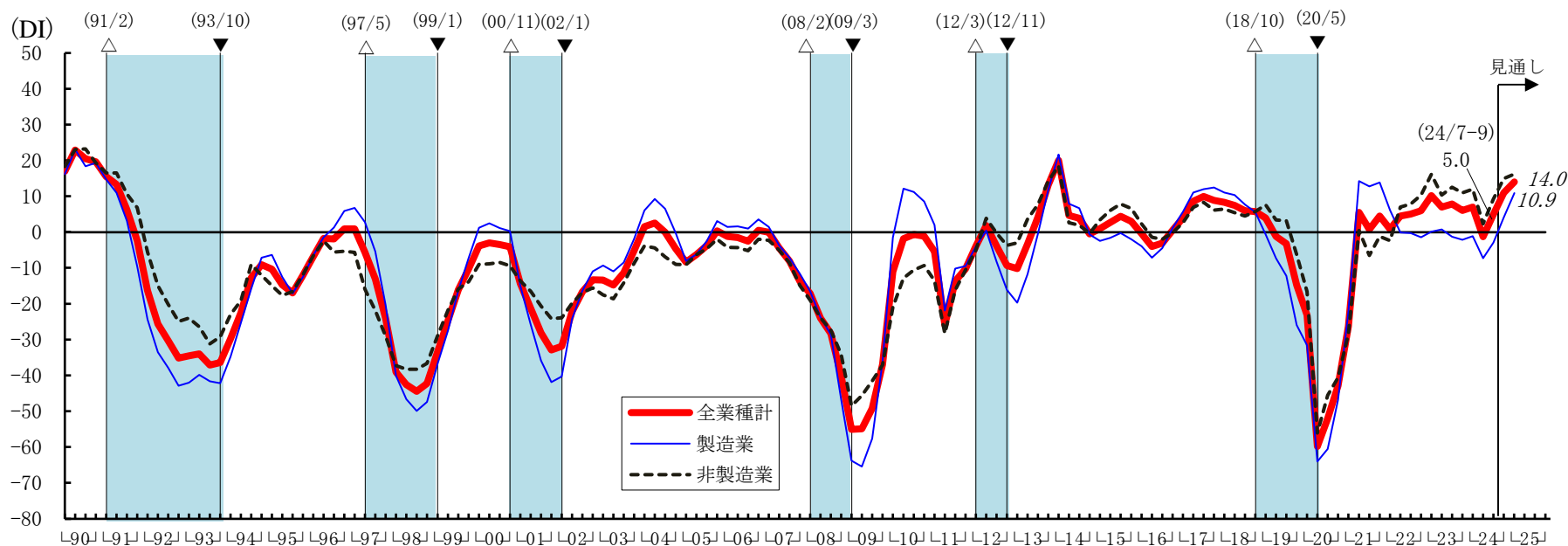
	調 査 対 象	有 効 回 答 数		
製 造 業	4,738 社	2,153 社	(構成比	35.7 %)
鉱 業	13 社	8 社	( 同	0.1 %)
建 設 業	1,383 社	634 社	( 同	10.5 %)
運送業(除水運)	875 社	384 社	( 同	6.4 %)
水 運 業	161 社	68 社	( 同	1.1 %)
倉 庫 業	63 社	36 社	( 同	0.6 %)
情 報 通 信 業	434 社	143 社	( 同	2.4 %)
ガ ス 供 給 業	7 社	7 社	( 同	0.1 %)
不 動 産 業	791 社	314 社	( 同	5.2 %)
宿泊・飲食サービス業	860 社	284 社	( 同	4.7 %)
卸 売 業	1,936 社	849 社	( 同	14.1 %)
小 売 業	1,064 社	398 社	( 同	6.6 %)
サ ー ビ ス 業	1,874 社	745 社	( 同	12.4 %)

# 1 業況判断

- 今期（2024年7－9月期）の業況判断DIは、前期（2024年4－6月期）から6.3ポイント上昇し、5.0となった。
- 来期（2024年10－12月期）は10.9と上昇し、来々期（2025年1－3月期）は14.0となる見通しである。

図－1 業況判断DIの推移（季節調整値）

	2023/7-9	2023/10-12	2024/1-3	2024/4-6	2024/7-9 (前回見通し)	2024/10-12 (前回見通し)	2025/1-3
業況判断DI (季節調整値)	7.8	6.0	7.0	▲ 1.3	5.0 ( 2.3)	10.9 ( 6.5)	14.0
製 造 業	▲ 1.3	▲ 2.1	▲ 1.2	▲ 7.3	▲ 2.9 (▲ 3.9)	4.1 ( 4.1)	10.9
非 製 造 業	12.5	10.9	11.9	2.3	9.3 ( 6.5)	14.9 ( 9.3)	16.2



(暦年・四半期)

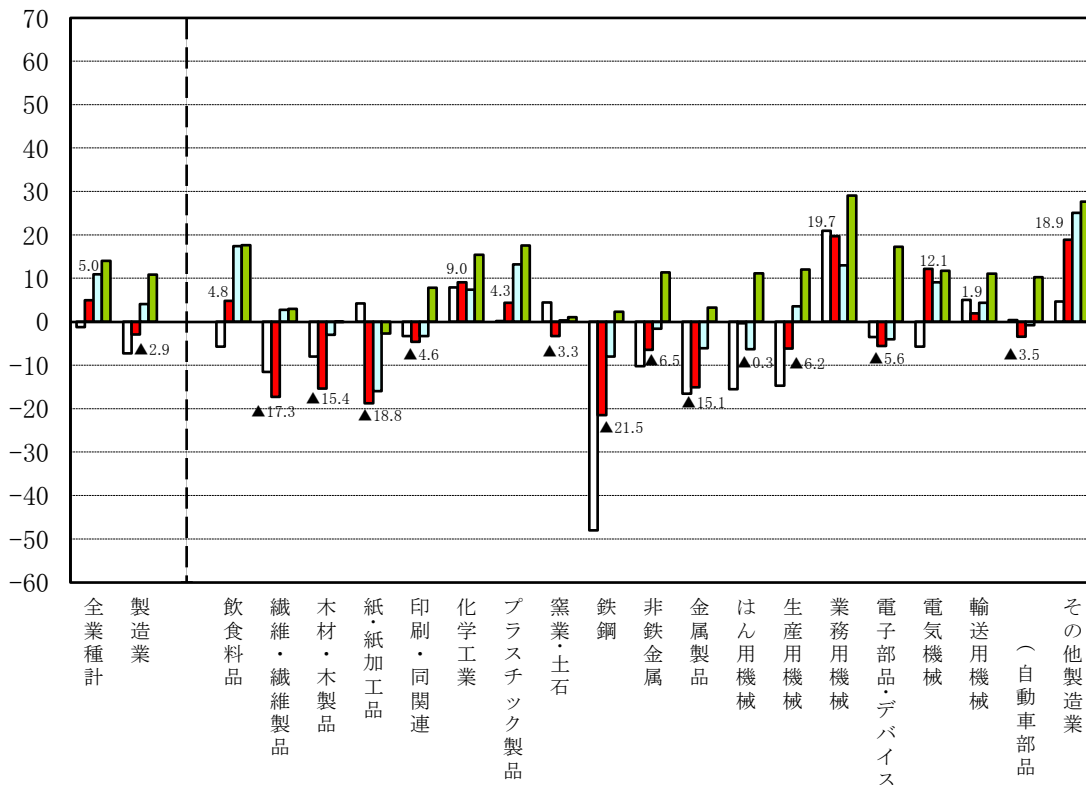
(注) 1 業況判断DIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値（季節調整値）。  
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

- 今期の業況判断DIを業種別にみると、製造業は、鉄鋼、電気機械、はん用機械等が上昇した。一方、紙・紙加工品、窯業・土石、木材・木製品等は低下した。
- 非製造業は、倉庫業、サービス業、建設業等が上昇した。

図－2 業種別業況判断DIの推移（季節調整値）

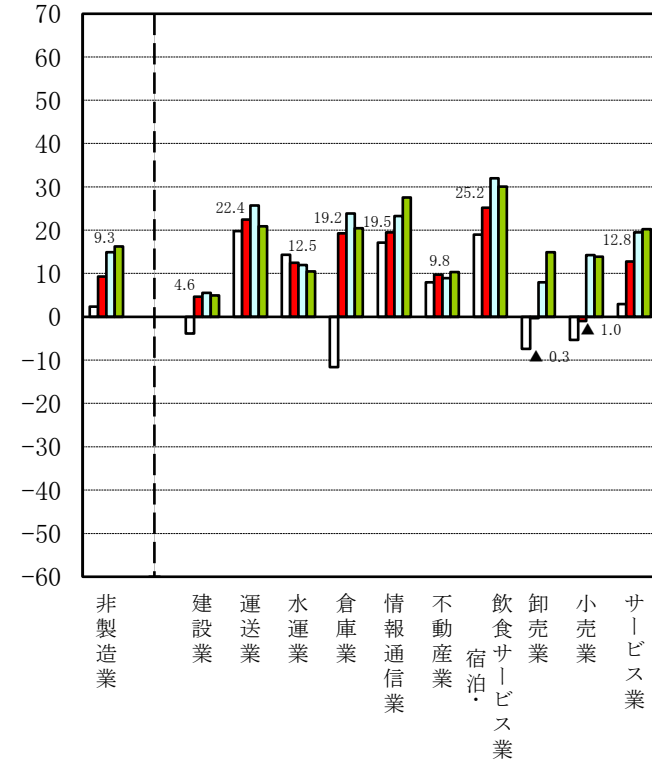


－製造業－  
(DI)



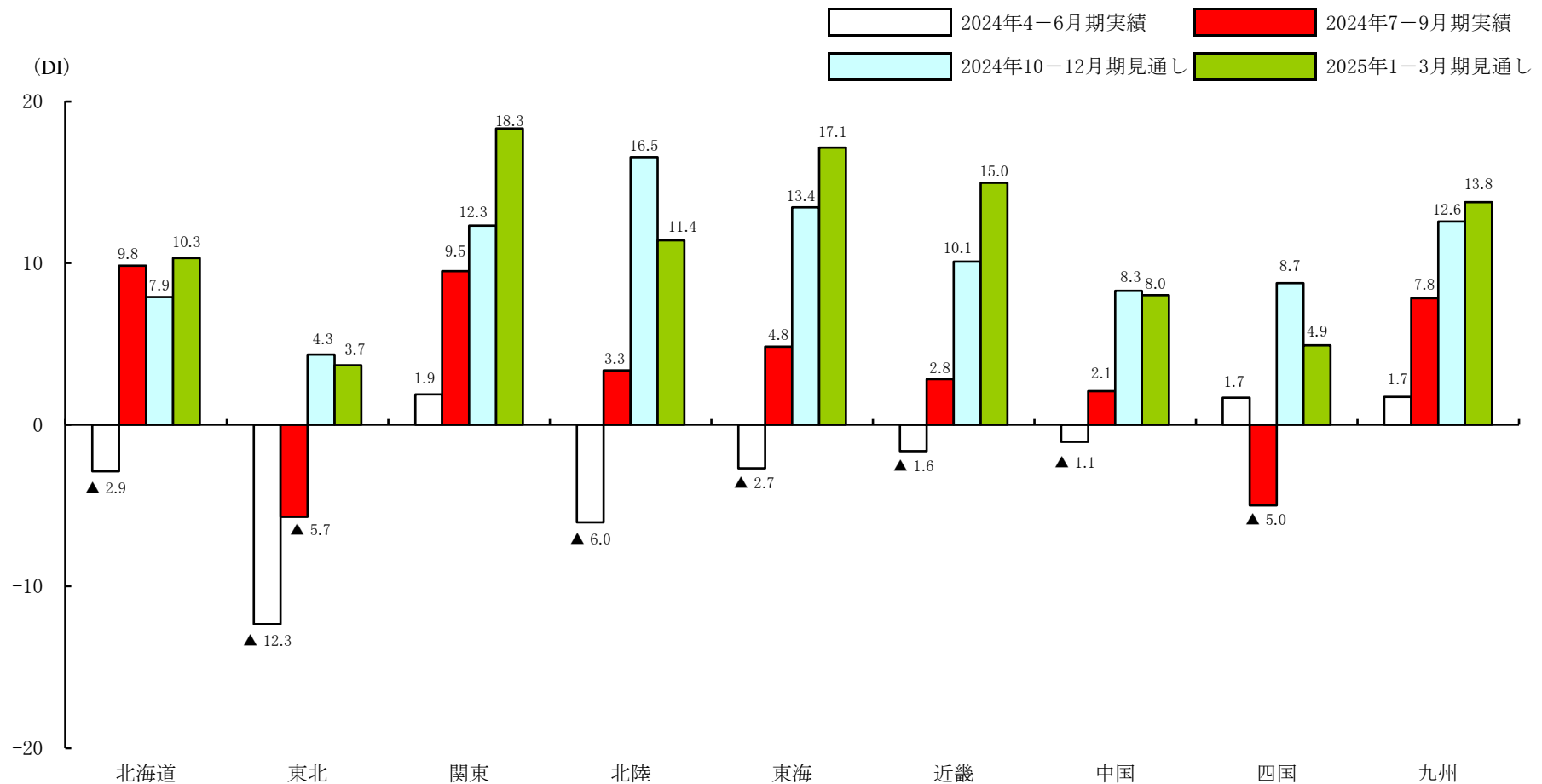
(注) 図中の数字は、今期の実績値を示す。

－非製造業－  
(DI)



- 業況判断DIを地域別にみると、今期は四国以外の8地域で上昇した。
- 来期は、北海道以外の8地域で上昇する見通しである。

図－3 地域別業況判断DI（季節調整値）

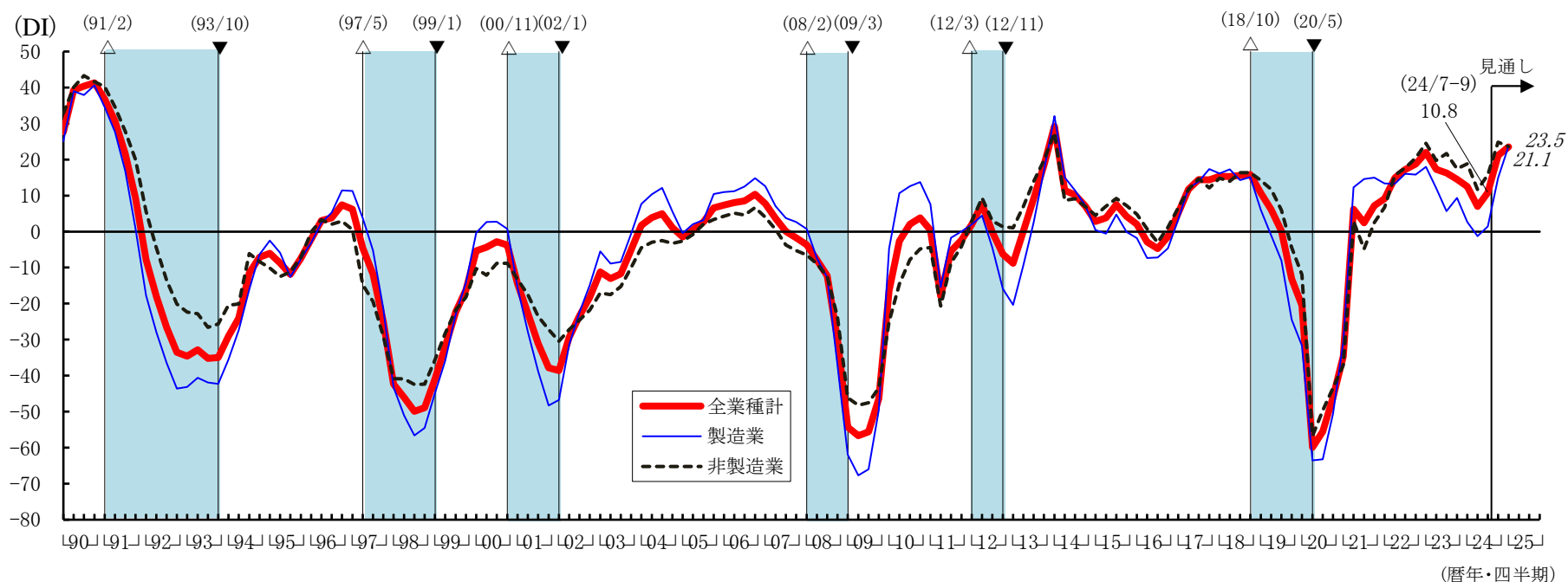


## 2 売上

- 今期の売上DIは、前期から3.9ポイント上昇し、10.8となった。
- 来期は21.1と上昇し、来々期は23.5となる見通しである。

図－4 売上DIの推移（季節調整値）

	2023/7-9	2023/10-12	2024/1-3	2024/4-6	2024/7-9 (前回見通し)	2024/10-12 (前回見通し)	2025/1-3
売上DI (季節調整値)	16.3	14.5	12.5	6.9	10.8 ( 13.2)	21.1 ( 17.4)	23.5
製 造 業	5.7	9.3	2.6	▲ 1.3	1.4 ( 7.7)	14.9 ( 14.5)	23.8
非 製 造 業	21.7	17.4	18.8	11.7	15.7 ( 16.9)	24.8 ( 19.2)	23.6



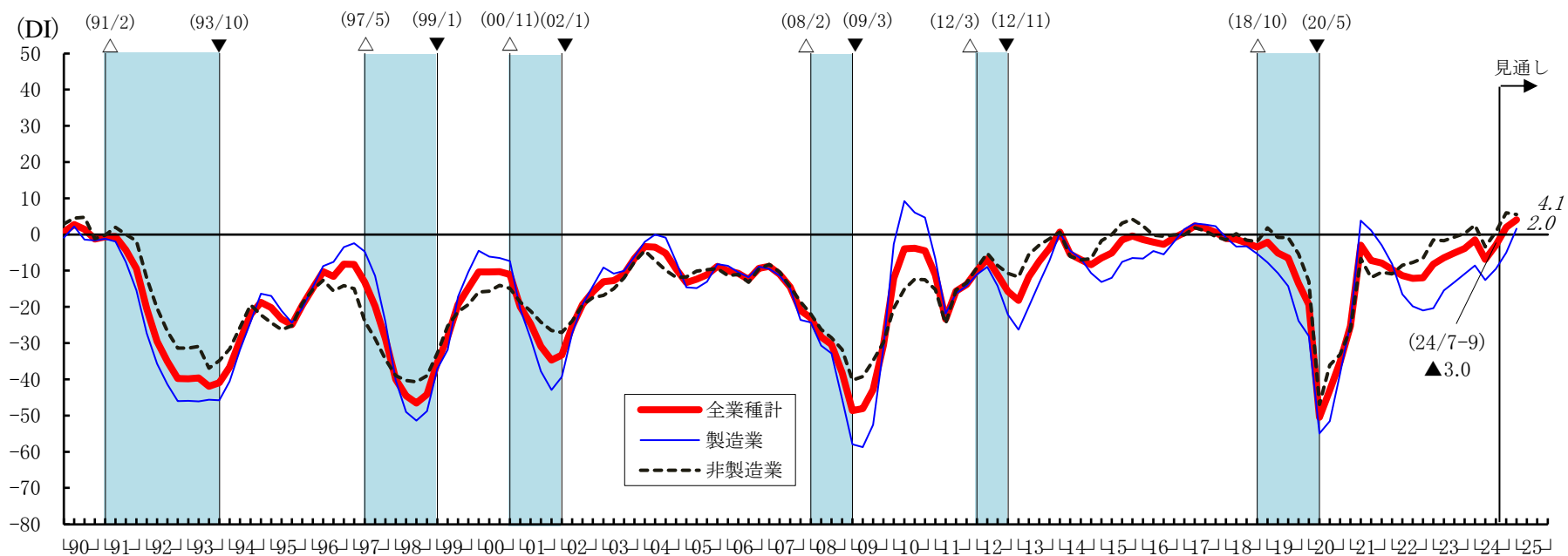
- (注) 1 売上DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。  
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

### 3 利益

- 今期の純益率DIは、前期からマイナス幅が3.9ポイント縮小し、▲3.0となった。
- 来期は2.0と上昇し、来々期は4.1となる見通しである。

図－5 純益率DIの推移（季節調整値）

	2023/7-9	2023/10-12	2024/1-3	2024/4-6	2024/7-9 (前回見通し)	2024/10-12 (前回見通し)	2025/1-3
純益率DI (季節調整値)	▲ 5.1	▲ 3.9	▲ 1.5	▲ 6.9	▲ 3.0 (▲ 3.8)	2.0 (▲ 0.03)	4.1
製 造 業	▲ 13.2	▲ 10.9	▲ 8.6	▲ 12.6	▲ 9.5 (▲ 10.1)	▲ 5.1 (▲ 4.5)	1.6
非 製 造 業	▲ 0.7	0.3	2.6	▲ 3.4	0.7 ( 0.1)	6.0 ( 2.8)	5.5



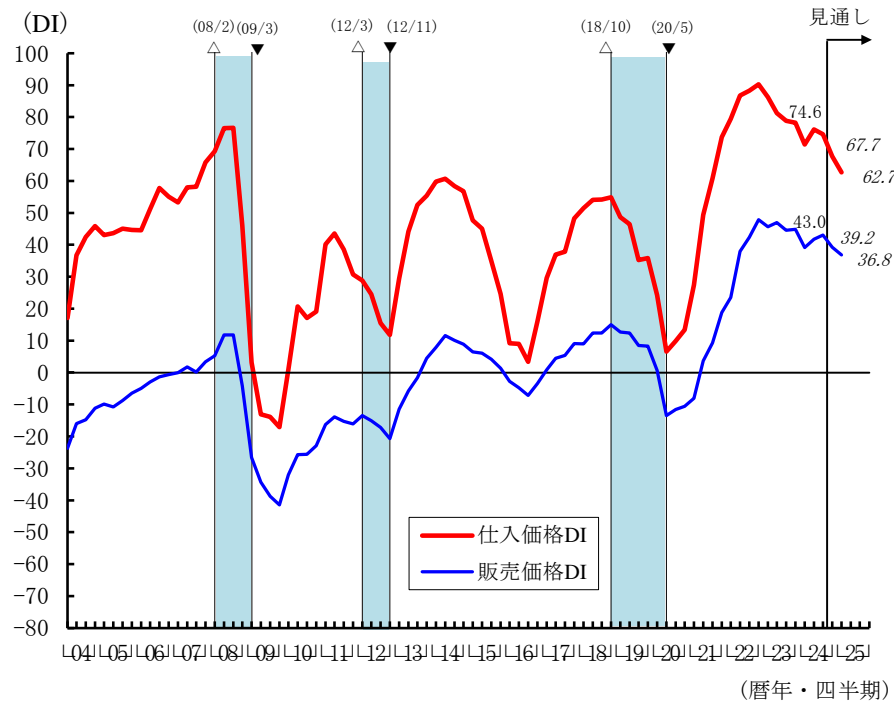
- (注) 1 純益率DIは、前年同期比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合（季節調整値）。  
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

## 4 価格、金融関連

- 今期の販売価格DIは、前期から1.3ポイント上昇し、43.0となった。仕入価格DIは前期から1.5ポイント低下し、74.6となった。来期の販売価格DI、仕入価格DIは、ともに低下する見通しである。
- 今期の資金繰りDIは、前期から3.4ポイント上昇し、2.8となった。長期借入難易DIと短期借入難易DIは、ともに前期から低下した。

図－6 価格関連DIの推移（原数値）

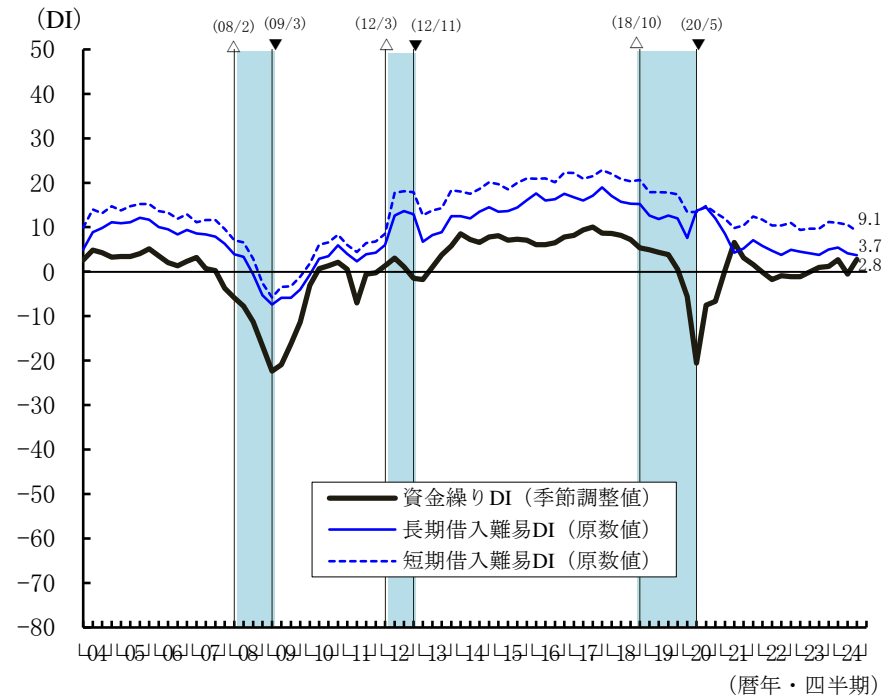
	2023/7-9	2023/10-12	2024/1-3	2024/4-6	2024/7-9	2024/10-12	2025/1-3
販売価格DI	44.6	44.9	39.1	41.7	43.0	39.2	36.8
仕入価格DI	78.8	78.2	71.4	76.1	74.6	67.7	62.7



- (注) 1 仕入価格DI、販売価格DIともに前年同期比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合（原数値）。  
2 図中の数字は今期実績および見通し（斜体）の値を示す。

図－7 金融関連DIの推移

	2023/7-9	2023/10-12	2024/1-3	2024/4-6	2024/7-9
資金繰りDI（季節調整値）	1.0	1.2	2.7	▲0.6	2.8
長期借入難易DI（原数値）	3.8	5.0	5.4	4.1	3.7
短期借入難易DI（原数値）	9.7	11.2	11.0	10.5	9.1



- (注) 1 資金繰りDIは、前年同期比で「好転」企業割合－「悪化」企業割合（季節調整値）。  
2 借入難易DIは、前年同期比で「容易」企業割合－「困難」企業割合（原数値）。  
3 図中の数字は今期の実績値を示す。

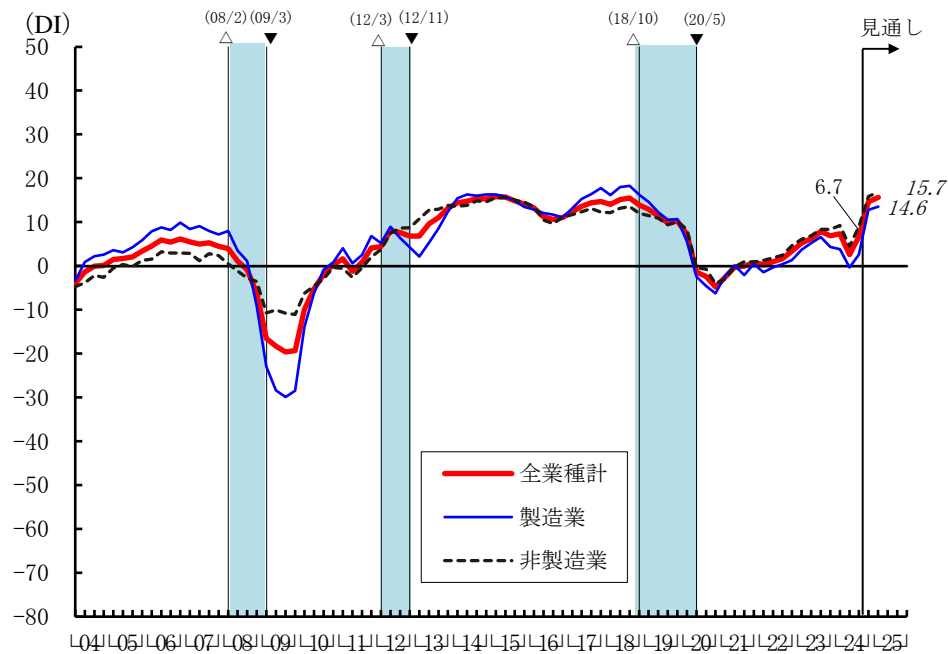


## 5 雇用、設備

- 今期の従業員DIは、前期から4.1ポイント上昇し、6.7となった。来期は上昇する見通しである。
- 今期の設備投資実施企業割合は、前期から0.6ポイント低下し、37.9%となった。

図－8 従業員DIの推移（季節調整値）

	2023/7-9	2023/10-12	2024/1-3	2024/4-6	2024/7-9 (前回見通し)	2024/10-12 (前回見通し)	2025/1-3
全業種計	7.8	6.9	7.3	2.6	6.7 ( 12.0)	14.6 ( 12.6)	15.7
製造業	6.6	4.3	3.8	▲0.3	2.5 ( 8.8)	12.8 ( 11.0)	13.5
非製造業	8.3	8.3	9.3	4.5	8.9 ( 13.8)	15.9 ( 13.5)	16.9

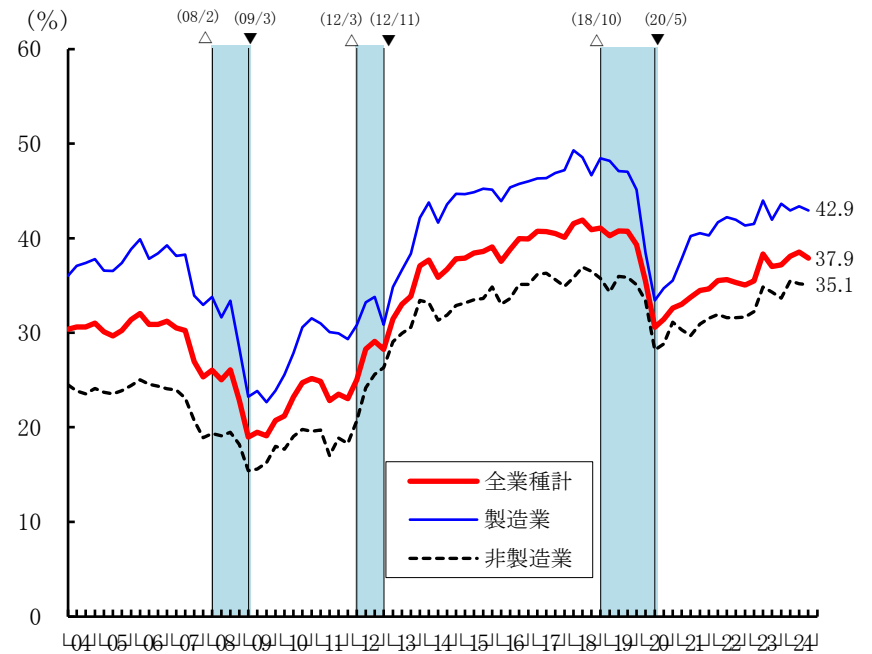


(暦年・四半期)

- (注) 1 従業員DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。  
2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

図－9 設備投資実施企業割合の推移（季節調整値）

	2023/7-9	2023/10-12	2024/1-3	2024/4-6	2024/7-9
全業種計	37.0	37.2	38.1	38.5	37.9
製造業	42.0	43.7	42.9	43.4	42.9
非製造業	34.3	33.7	35.5	35.2	35.1



(暦年・四半期)

- (注) 図中の数字は今期の実績値を示す。

## 6 経営上の問題点

- 当面の経営上の問題点をみると、「売上・受注の停滞、減少」が28.5%と最も多く、次いで、「求人難」（25.4%）、「原材料高」（19.4%）となっている。
- 前回調査と比べると、「求人難」は0.9ポイント低下した。「原材料高」は2.4ポイント低下した。「人件費や支払利息等の増加」は3.2ポイント上昇した。

図-10 経営上の問題点の推移

